

生徒のみなさんへ

宮城県宮城第一高等学校
校長 後藤 和也

令和3年度 学校評価について（報告）

11月に実施しました学校評価アンケート調査について、多くの貴重な意見をいただきました。ありがとうございます。評価の結果がまとまりましたので報告いたします。

◇回収率 対象 全校生徒

回収率：1年次 265人(94.6%)，2年次 253人(91.3%)，3年次 251人(91.9%)

◇評価段階

A：当てはまる

B：どちらかといえばあてはまる

C：どちらかといえばあてはまらない

D：当てはまらない

肯定的評価（A+B）が90%以上：◎，60%以上：○，50%以上△，50%未満▲

◇評価領域ごとの結果と分析(数値の単位は%)

1. 教育活動全般に関する評価領域

No	評価項目	A		B		C		D		A+B	評価
		男	女	男	女	男	女	男	女		
1	学校行事は楽しく有意義に行えるよう配慮されている。	34	40	51	50	10	9	4	2	88.8	○
2	学校生活は充実している。	36	52	53	41	7	6	4	1	92.1	◎
3	校舎やグラウンドなどの施設・設備は整備されている。	24	27	49	47	18	21	10	6	73.1	○
4	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	54	56	38	38	7	5	2	1	93.6	◎
5	学習活動，学校行事，部活動では特色ある学校づくりに取り組んでいる。	43	60	46	35	9	4	3	1	94.2	◎
6	学校ホームページや Classi などによって，学校の情報は適切に伝えられている。	39	49	43	43	12	6	6	1	90.2	◎

項目1「学校行事」と項目2「学校生活」に関しては、肯定的な評価が90%前後で、昨年度よりやや減少しているものの高評価となっています。この傾向はこの数年間変わっていません。昨年度はコロナ禍のため多くの学校行事が中止や変更となりましたが、今年度はたくさんの方々の協力を得て、感染対策をしながら「体育大会」、「歌合戦」、「秋桜祭」などの学校行事を開催することができました。困難な状況下にあっても前向きに考え、工夫し協力して目標達成に向かう宮一生の姿勢が表れた結果と考えます。また、学校生活が充実している、と感じているみなさんが多かったことに、自ら考え行動できる宮一生のモチベーションの高さを感じられます。今後も継続されることを大いに期待しています。

項目3「施設・設備」については、昨年度と今年度は肯定的な評価が70%を超え、一昨年より20%ほどアップしました。旧校舎から仮設校舎へ移転し、新しい施設・設備となったことが要因と思われますが、仮設校舎の

ため騒音やその他の環境面で不便をおかけしている事も多々あると思います。みなさんからの要望に対して、予算その他の点ですぐには解決できないこともあります。可能な範囲で今後も対応をしていきます。みなさんも、「仮設」であっても「我が校舎」という気持ちを忘れず、大切に使って欲しいと思います。

項目4「災害時の対応」については、高評価の回答が90%以上でした。東日本大震災から10年の節目の年、加えて地震や豪雨などさまざまな災害(コロナ禍も災害の一つと考えることができます)が発生している昨今、生徒のみなさんの防災意識の高さが反映されているのではないのでしょうか。また、今年度は、避難経路や非常時の連絡方法をみなさんと再確認しました。これからも、避難訓練をはじめ適切な情報発信を心がけ、防災意識の向上に努めていきたいと考えています。

項目5「特色のある教育活動」は3年連続で評価(A+B)が90%を超えており、本校の特色ある教育活動をご理解いただけていると考えます。コロナ禍で様々な制限がある中ではありますが、今後も魅力ある教育活動の工夫を重ねていきます。

項目6「学校の情報」は、これまでも評価(A+B)が80%台で高水準でしたが、今年度は90%を超えており、学校からの情報が各生徒へ適切に伝えられていると考えます。これからも連絡事項などを様々なコンテンツ、ツールを活用して発信に努めます。

2. 学習活動に関する評価領域

No	評 価 項 目	A		B		C		D		A+B	評 価
		男	女	男	女	男	女	男	女		
7	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	24	30	51	56	19	12	7	2	83.6	○
8	生徒一人一人の個性を伸ばす教育課程(カリキュラム)が編成されている。	20	26	47	51	21	19	12	4	74.7	○
9	2年次、3年次での科目選択について十分な説明が行われている。	41	41	41	45	15	12	3	2	85.0	○
10	教科の年間指導計画や評価の仕方について説明されている。	37	40	49	49	11	10	3	1	87.9	○
11	学習について気軽に教員に質問できる雰囲気がある。	41	41	46	44	9	13	4	2	85.3	○

教務部関係の評価項目において、特に前年に比べて変化の大きかった項目は、項目9の「2年次、3年次での科目選択について十分な説明が行われている」の値でした。この項目については、2018年度から2019年度にかけて1.8ポイント上昇し、更に2020年度1.6ポイント上昇したことで、2年間で3.4ポイント上昇しましたが、今年度は2.3ポイント評価が下降しました。今年度も1年次・2年次の生徒の皆さんに対して5月27日(木)に教育課程説明会を年次ごとに実施し、志望する大学・学部を見据えた科目の選択となるように、各教科の先生方から説明をしていただき、その後、担任の先生との個人面談等で選択科目を確定するなど、生徒の皆さんに対してより丁寧な対応ができるよう工夫しています。概ね、高い評価をいただいていると考えますが、今回、若干ですが数値が下がったことを考慮し、更に分かりやすい科目選択の説明となるよう心がけていきたいと考えています。

また、評価項目にはありませんが、各教科からの課題や小テストが多過ぎるとの声が生徒の皆さんから寄せられます。課題は、予習としての課題、復習としての課題、模試や受験を見据えた発展的な課題など、それぞれの狙いに基づいています。その趣旨を理解して意欲的に取り組むことで、実力は養成されます。内容・分量・回数を毎年精選吟味していますが、教科担当者間で連絡を取り合って過重負担にならないよう、さらに留意したいと思います。

紙ベースのものからデジタルベースのものへ切り替え、生徒の皆さんが短時間で取り組みやすい工夫を行っているものもありますし、課題提出日や小テスト実施日については、年間予定を示している教科が多いと思いますので、生徒の皆さんも計画的かつ積極的に取り組むようにしてください。

3. 進路指導に関する評価領域

No	評 価 項 目	A		B		C		D		A+B	評 価
		男	女	男	女	男	女	男	女		
19	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	33	40	52	52	12	6	4	2	90.3	◎
20	大学,短大,専門各種学校など, 上級学校についての情報提供が的確になされている。	36	40	47	48	14	10	3	2	86.9	○
21	自分の進路について相談に応じる体制ができています。	38	44	47	47	13	7	3	2	89.3	○
22	進学へ向けての模擬試験や課外講習が充実している	48	57	43	39	5	3	4	0	95.1	◎
23	進路ガイダンス・進路講話は適切に実施されている。	48	52	40	42	10	5	3	1	93.2	◎

昨年度は進路指導部関係の評価項目 5 項目中全てにおいて前年度よりプラスの評価でしたが、今年度は5項目中4項目において昨年度よりマイナスの評価となりました。特に項目 20 の「大学, 短大, 専門各種学校など, 上級学校についての情報提供が的確になされている」が-1.5%, 項目 23 の「進路ガイダンス・進路講話が適切に実施されている」が-1.3%という評価になりました。これは, 「もっと大学入試システムなど詳細に説明してほしい」という声があるなど, 本校の進路指導が皆さんの要求に応えきれていないことを反映しているものと受け止めております。進路指導部では, 「進路便り」や LHR 等の時間を使い進路情報を提供の工夫, 担任の先生を始めとした面談の強化などに努めていきたいと考えています。

4. 生徒指導に関する評価領域

No	評 価 項 目	A		B		C		D		A+B	評 価
		男	女	男	女	男	女	男	女		
12	学友会, 各種委員会の活動が盛んで充実している。	27	28	46	52	17	16	10	3	78.9	○
13	部活動が活発に行われている。	50	60	42	38	4	2	4	0	96.4	◎
14	挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている。	23	28	49	48	19	19	10	5	75.2	○
15	学校として, 日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	26	30	49	50	19	17	6	3	78.7	○

項目 12「学友会, 各種委員会の活動が盛んで充実している」と評価している人が昨年度より 0.2%減少しました。コロナ禍が続いているものの, 感染対策を徹底し, 何とか行事を開催できた一年でしたが, 様々な制限もあり, 以前と同じには実施できなかったことが感じ取れる結果でした。項目 13「部活動が活発に行われてい

る」と評価している人が、非常に高かった昨年度を上回りました。運動部・文化部とともに、日頃の練習から大会への参加、活躍と、充実した部活動ができている生徒が多数いる証だと感じられます。

項目 14「挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導」が評価は○となりますがあまり徹底されていないという結果は、昨年度と同様です。人に注意を受ける前に自分で考えて行動することが理想です。本校には爽やかな挨拶をしてくれる生徒がたくさんいることも事実です。挨拶が苦手な人もいますが、軽く会釈するだけでも良いと思います。型にはまった挨拶でなくて良いので、校内にいる人とのつながりを大切にしてほしいと思います。時間を守る、提出物の期限を守る、週番の仕事に責任を持つ、など、自分の行動がこの学校の雰囲気や文化の一部なのだという意識を忘れないでください。関連して、ここ数年、私物の置き忘れが多くなっています。ロッカー等を利用し、貴重品の管理にもう一度意識を向けてください。

項目 15 について、人間関係に関する問題が発生したときは、自分が当事者であろうと部外者であろうと、自分の中に抱え込まずに、誰かに相談するようにしてください。問題が発生していなくても、何か不安に思われるような出来事や、判断に迷うような出来事があつたら、一人で悩まずに、先ずは相談してみてください。

5. 健康管理に関する評価領域

No	評 価 項 目	A		B		C		D		A+B	評 価
		男	女	男	女	男	女	男	女		
16	必要なときに、悩みや困りごとの相談に応じてくれるカウンセリング体制が整っている。	33	38	49	50	12	11	6	2	85.9	○
17	健康や体について困ったとき、相談に応じる体制が整っている。	38	44	52	46	7	9	4	2	89.6	○
18	校舎は衛生的に管理されている	39	37	51	51	8	10	2	2	88.1	○

項目 16「カウンセリング体制が整っている」は、昨年度よりも数値が下がり A と B の評価が 85.9%となりましたが、概ねあてはまると考えている人が多いようです。今後も、カウンセリングをより受けやすくすることやカウンセリングを含めた相談の形態について、さらに検討していきたいと思います。また、実施予定日や申込方法、利用するにあたってアドバイスなどを、分かりやすくお知らせしていきます。

項目 17「健康管理」は、前年度よりも若干数値が下がり A と B の評価が 89.6%となりましたが、多くの生徒から概ね良好であるとの評価となっています。安心して学校生活が送れるようなサポート体制がある程度出来ていると感じています。今後ともより一層の利用しやすい環境づくりに努めていきたいと考えています。

項目 18「校舎の衛生的な管理」は、前年度よりも数値が上がり、A と B の評価 88.1%となりました。昨年度も大きく上昇していました。仮設校舎に変わり 1 年となりますが、より綺麗に使っていこうという気持ちの表れがあると思います。また、トイレをはじめとして清掃やマナーが、しっかりできてきたからだと思われます。トイレ清掃分担は、一昨年度から前期・後期で分担クラスを変えできるだけ多くの人にトイレ清掃にあたってもらいました。今後ともトイレ清掃の大切さと使用マナーの向上や清掃指導に力を入れていきたいと思っています。校舎をいかに快適な環境にするかということは本校の課題であると思いますので、より一層の環境美化について働きかけ、清掃の徹底に努めていきたいと思っています。